
《ニートなおれの話》

ヒーロー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『二一トなおれの話』

【著者名】

Z9565T

【あらすじ】

日記的な紹介的な作文

まあ…生まれつき氣持ちはずっとニートであるが、金がない時は物理的に働かなければいけなかつた訳である。

長く続いたものなんて1つも無ければ正社員に等なりたい等と思つた事は1度も無い。

ダメ人間といふのは、本当にダメで仕事なんて続かない。

そんな事してるとヒマがあるなら、遊んだり、眠つたり、タバコを吸つたりしなくてはならない。

しかし、ソレは認められず、屋根の下に住んでる限り、家賃なんてものが発生してしまつ。

もちろん、そんなものを払つ氣は無いし、払つ必要もない。

なぜ、家賃なんて形無い物に金を使わなければならぬのだろうか?

全く意味がわからぬ。

電気やガス等とつくりに止まつた。

そんなものこそ、最も払わないで良いものではないだろーか?

逆に言えば

なぜ払う?

なぜに払わねばなるまいか?

べつに電気を使っているからといった所で、なにも、その電気代といふやつを、もし仮に、払った所で、その金が電気を発明したエジソンに届くわけではない。

電気を発明したのはエジソンさんだ。

それなのに、なぜ、訳もわからぬオジサンに電気を止められなくてはいけない？

「電気屋でーす。止めにきましたー」等と気軽に人の家の電気を止める権利はあるのだらうか？

あのオジサンはなんなんだ？エジソンの子孫とでもいうのか？とにかくおれはエジソンとなんのカンケーもないやつにおれの電気の事をあーだこーだ言われるのは嫌なのである。

もうガスに関しては、なんの事やら、分からぬ。

誰が作ったのか、そもそも作るものなのか、それさえも、分からず、もちろん、そんな訳の分からぬものに、払う金などない。

ナイわけなのだが、請求は来る訳で、それが払えないと止められる訳で、家に住めなくなってしまうのだ。

それで

ショーがないから、彼女の家にあがり込む。

彼女は嫌がる。

肩身が狭くなる。

「働け」と愚痴りだす。
機嫌をとつて誤魔化す。
いよいよ

ついに

ごまかせなくなつてくる。

「面接いつてきまーす」と、いつて、本屋で立ち読みしては、家に
帰り、何日かたち「面接おちたよー」とウソを付く日々が続く。い
よいよ彼女が疑いだす。もう、こうなつたら、おもいきつて「仕事
決まつたよー」といつてみる。もちろん面接に等つてないが後先
の事など何も考えず言つてみる。ついに架空の給料日がやつてくる。
彼女は、今日は、今まで自分が払つていた支払いを少し返してもら
えると、楽しみにしている。しかし、おれに給料を払つて下さる方
などドコにもおらず、おれは彼女に土下座する。彼女は呆れる。お
れは号泣で必死に許しをこう。呆れた彼女はついに俺を許す。おれ
は今まで以上に力を入れ、彼女にマッサージをする。

等々…コレが誰の人生なのか説明などはいりますか？、、、。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9565t/>

《ニートなあれの話》

2011年10月9日04時49分発行